

水稻における割れ籾発生と斑点米発生の関係

古川農業試験場

1 取り上げた理由

本県における斑点米カメムシ類の主要種はカスミカメ科カメムシであることから，割れ籾の発生は斑点米の発生に大きく影響すると考えられ，圃場レベルにおいて斑点米発生との関係が明らかになったので参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 割れ籾および斑点米発生の品種または系統間差は大きい(図1, 2, 3)。
- 2) 割れ籾の発生が多い場合には側部加害による斑点米の発生も増加する(図1, 4)。
- 3) 生育ステージの早いものでは斑点米の発生率が高く，側部加害の割合が高い(図1, 3)。

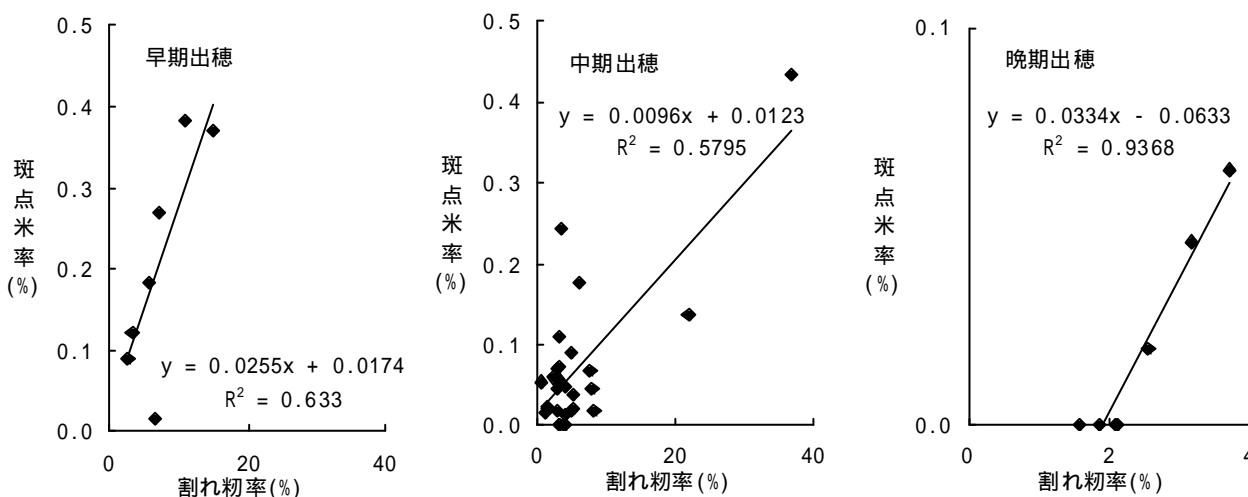


図3 割れ籾と斑点米(側部加害)の関係(出穂期別)

注: 早期出穂 : 出穂期が 8月 9日までの品種または系統
 中期出穂 : 出穂期が 8月10日 ~ 8月19日までの品種または系統
 晩期出穂 : 出穂期が 8月20日以降の品種または系統

3 利活用の留意点

- 1) 割れ籾の発生が多い年には斑点米カメムシ類の加害期間が長引くことから側部加害による斑点米の発生が増加する。よって，適期防除の徹底がより重要となる。

(問い合わせ先: 古川農業試験場作物保護部 電話0229-26-5108)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

斑点米カメムシ類の発生生態調査（平成14～16年）

2) 参考データ

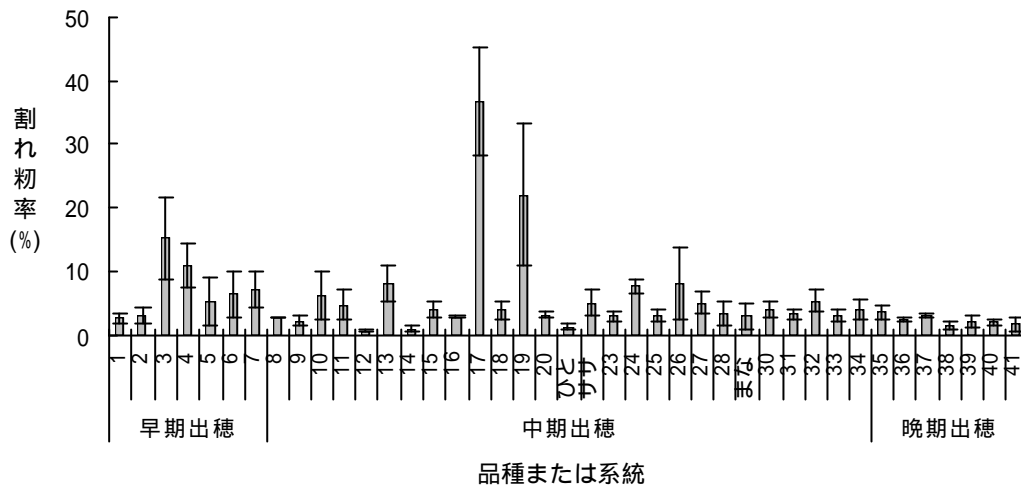


図2 水稻品種または系統別の割れ籾発生率 (%)

ひと：ひとめぼれ，ササ：ササニシキ，まな：まなむすめ，図中のバーは標準誤差を示す

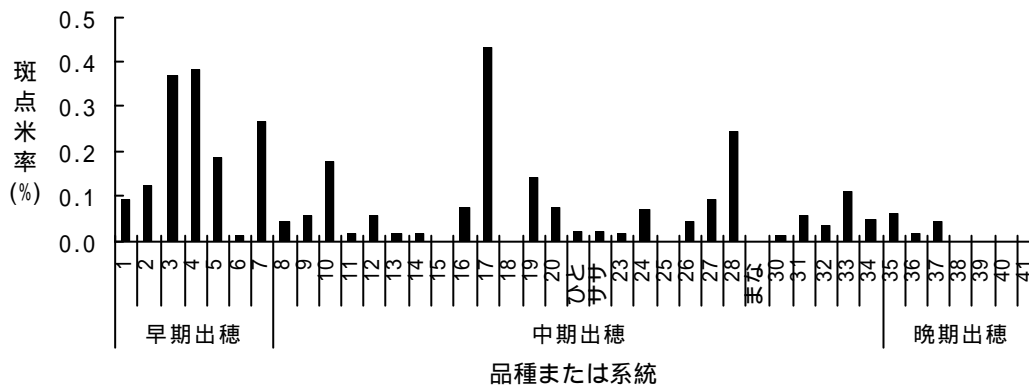


図3 水稻品種または系統別の斑点米発生率 (%)

ひと：ひとめぼれ，ササ：ササニシキ，まな：まなむすめ

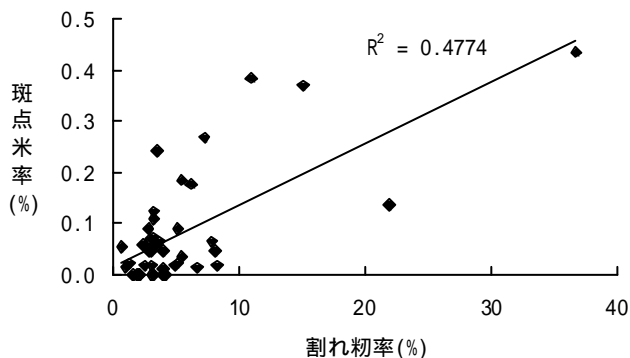


図4 割れ籾と斑点米（側部加害）の関係

3) 発表論文等

特になし